

豊岡市障害者自立支援協議会

運営会議 (R4年度報告)

代表：谷 友紀子（生活支援センターほおずき）

委員：池田 美和子（豊岡市障害者相談支援事業所）

稲津 慎也（北但広域療育センター風）

笹谷 秀美（NPO法人ぷろじえくとPLUS）

木村 尚子（一般社団法人暮らしの学校 農楽）

宮下 典子（NPO法人セルフサポートいずし）

福田 寛子（豊岡市健康増進課）

松田 悟（障害者基幹相談支援センター）

事務局：梶原 博和、滝本 正美子（豊岡市社会福祉課）

運営会議で目指したこと

(運営会議:今年度12回開催)

地域の状況

過疎化

少子
高齢化

現場の状況

ニーズは
増加!

福祉人材
は不足!

人材育成
が不十分

スタッフの疲弊、離職、
サービスの質の低下…etc.
さまざまなリスク!

運営会議で話し合ってきたこと

よりよい
サービスを!

働きがいのある
職場を!

ローカルだからこそ
の魅力ある福祉の
まちづくりを!

人材育成に
力を入れよう!

Point!

楽しく、
つながりを作り、
学べる場

協議会を周知
し、関わる人を
増やしたい!

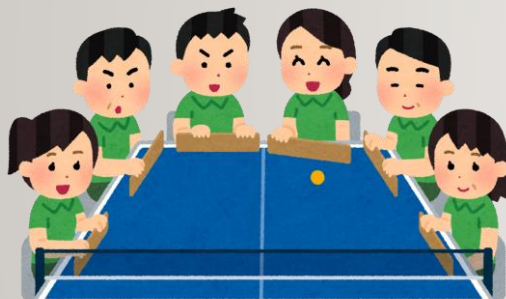
Point!

はっしん部会発動!
協議会のあり方を
検討

1. 人材育成 ～年間3回の研修会を実施～

【第1回】 7/30(土) 虐待防止・権利擁護研修
参加者148名(37事業所)
講師: 上田晴男氏(一般社団法人 支援の思想研究会)

【第2回】 11/5(土) 交流会



- ・障害者スポーツ(卓球バレー)体験
- ・協議会紹介動画(はっしん部会作成)視聴
- ・グループワーク

参加者 46名(14事業所)



【第3回】 1/28(土) 講演会「価値と倫理」に根差した社会福祉の支援を考える(その2)
～この時代と社会状況の中で「ともに前を向く」ためのソーシャルワークの理論と実践～
参加者 54名(20事業所)

講師: 空閑 浩人氏(同志社大学 社会学部社会福祉学科)

※講演前に協議会紹介動画上映と「体調報告票」(せいかつ部会作成)の活用報告

感想・意見

第1回 虐待防止・権利擁護研修

- まずは現場に目を向けることの大切さと、それが虐待の種をなくすことに繋がることを再認識した。

第2回 交流会(卓球バレー、協議会紹介、グループワーク)

- (協議会紹介動画を観て)初めて自立支援協議会を知った。
- コロナ禍で外部との交流がなかった。もっとこのような機会があればと思う。もっといろんな事業所が集まったら良いなと思った。
- 横のつながりを作れるのがいい。
- 全く想像していなかった研修…悪い意味ではなく、むしろ感動した。
- 自立支援協議会は前向きに楽しいことを作る場、笑い合えるのがいいなと思った。

第3回 対人援助技術研修

- 支援者として、一人の人間として障害のある方々にどう関わっていくのか。今までのかかわり方はどうだったのかを考えるいい機会になった。
- 安心、安全のコミュニケーションの大切さ、支援者側はあきらめてはいけないということが心に残った。

研修後アンケートより(一部)

地域課題と感じていること

- 福祉だけでは解決しない地域課題(例:交通の便の悪さ)については、他分野と一緒に取り組んでいく必要がある。
- よい支援には人材が必要なのに、人が足りない。人材確保、人材育成が必須。
- 全体的に社会資源が少ない。地域格差がある。

研修を実施して(参加者の声から総括)

研修に期待されていること

普段の実践を振り返り、
支援者に求められていることを学ぶ
＋
支援者同士がつながり、
元気になって、希望を持てること

協議会について

内容や伝え方を工夫することで、協議会に関心を持ってくれる手応えあり!



来年度

- ◎ニーズに応える研修の実施
- ◎協議会に関わる人を広げ、より様々な視点で地域課題に取り組む体制を作る

2. 豊岡市障害者自立支援協議会のあり方(案)

全体会議	開催（書面の場合有）/年2回	参集者 / 要綱に定める者・各部会員	報告会議	開催/年3回	参集者/各部会正副リーダー・基幹・事務局・計画担当
	(1) 事務局からの報告 (2) 各部会からの報告 (3) 研修			(1) 各プロジェクトの進捗状況 (2) 計画の進捗把握 (3) 全体会議進行の確認 (4) 情報共有（お知らせ等）	
部会	けいかく	・ 障害（児）福祉計画の中で 自立支援協議会として重点的に取り組む内容を協議する ・ 自立支援協議会の活性化・幅広い人材の参画についての検討			
	せいかつ	・ 生活に関わる地域課題を解決する			
	こども	・ 子どもに関わる地域課題を解決する			
	しごと	・ 仕事に関わる地域課題を解決する			
	はっしん	・ 情報発信（協議会の取り組み など） ・ 人材育成（対象・内容を絞った研修を実施）			
※ 部会の中で課題が複数ある場合は、課題ごとにプロジェクトチームを組む。課題が解決すれば、チームは解散。					
会	そうだん	・ 人材育成・スキルアップ ・ 地域課題の抽出			
	※ 相談支援専門員は「そうだん部会」の他、いずれかの部会に参加して地域課題の解決に取り組む。				

できるだけ
様々な事業所・
立場の人が関わって
創り上げる
協議会に！

できるだけ
様々な事業所・
立場の人が関わって
創り上げる
協議会に!